安全で、安らぎのあるまちづくりを目指して！

11人の議員が一般質問

質問は12月11日、12日、13日の3日間行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

環境衛生センター 緑泉園の協定履行は 可能な事業から実施

松村博司 議員（一新会）

❶実施計画の各施策を推進するには行財政改革が必要であり、施設管理はNPO法人等を活用し指定管理者制度の積極的な運用が必要と考えるが。

市長 指定管理者制度はNPO法人やボランティア団体等との協働が必要であり、導入のため積極的に取り組みを進める。

助役 体育協会や文化協会は大きな力として活動。NPO法人の資格を持ち、体育施設や文化施設の管理を行う意向があれば、市民サービスが低下せずに取り組める。十分調整し、検討する。

❷いじめ問題について、現状と今後の対策は。

教育部長 14年度以降小学校で7件、中学校で13件の報告。いじめられている児童・生徒の立場に立ち、いじめ解決に向け色々な支援を行い、いじめる児童・生徒についても「人間として」絶対許されない行為、適切で継続的に教育的指導を続ける。今後の対策は研修を重ね、早期発見、早期対応できる指導体制を確立し、各校で研修し計画的に実践している。

❸環境衛生センター緑泉園の操業運営同意に関する協定書が締結され、現在操業されているが、約束ごとの履行状況は。

経済環境部長 今後も、し尿を含めた生活排水施設として必要である。施設設置に関する同意協定書に基づき順次整備をし、未履行な課題も可能な事業から実施する方針。

建設部長 新田辺草内線は、都市計画決定の範囲内で事業効果が出るよう概略の設計は決定しており、早期に着手すべき事業と認識している。

❹防賀川公園の整備計画について。

建設部長 公園西側は19年度中に一部供用を開始し、20年度にはトイレ等設置や高木の植樹を計画。21年度までに完成予定。公園東側は、19年度に再々評価審査を受けるが継続して進めたい。

環境衛生センター緑泉園の脱臭塔

議会日誌

【11月】
2日 決算特別委員会（7日）
9日 幹事会
13日 議会運営委員会管外研修（～14日）
21日 議会全員協議会
議員研修会（宇治市）
22日 総務常任委員協議会
建設経済常任委員協議会
議会運営委員会
【12月】
28日 議会運営委員会
1日 第4回定例会〈議案上程〉
5日 文教福祉常任委員会
7日 幹事会
11日 第4回定例会〈一般質問〉
12日 第4回定例会〈一般質問〉
13日 第4回定例会〈一般質問〉
15日 文教福祉常任委員会
18日 総務常任委員会
19日 建設経済常任委員会・協議会
21日 幹事会
議会運営委員会
25日 議会運営委員会
26日 第4回定例会〈議案採決〉
【1月】
15日 広報編集特別委員会（19、25日）
17日 建設経済常任委員協議会
23日 文教福祉常任委員協議会
（以上主なもの）

医療費引き上げ許せん 高齢者には医療相談を

小林正路 議員（21市民の眼）

❶わが市の少子化対策どうする。子どもが少なくなりまちに活気がなくなる。子どもの養育費を助成しているまちもある。わが市もこれを見習え。

保健福祉部長 わが市の子育て医療体制は充実してきている。経済的支援も充実させていきたい。

❷新田辺駅東口のエレベーター設置問題。わが市は道路や河川の設備を進めてきたので住宅開発が進んだ。近鉄は客の激増で高架駅舎にしてしまった。エレベーターがなければ乗降できない。車いすの市民を助けよ。

安心まちづくり室長 要望はしている。近鉄の方針も調査、検討する。

❸興戸地区の府農業試験場跡地の利用はどうした。わが市は人口の増加で諸施設が不足している。懸案の歴史資料館や、文化大ホールの建設は手つかずか。どうしている。しっかりやらぬか。

総務部長 現在は田辺中学校の施設用地として一部を取得する交渉をしている。

❹政府は高齢者に医療費の負担を大幅に引き上げた。これは許せない。困っている高齢者がいないか調査されよ。困っている高齢者を助けよ。

市民部長 困っている方には医療の相談のできる体制をつくり対応を考えていく。

❺新田辺駅東商店街の活性化は対策なしか。市の指導はお手上げか。

経済環境部長 商店街が中心に取組まれる事業には支援をしていく。

❻府下の市長会はしっかりされよ。すでに戦後60年以上を経た。日本国憲法は戦争はしないと決めたはず。しかるに政府は改憲しようとしています。これで軍備がつくられることは誰の目にも明らか。政府は戦前にかじを切ったのです。教育基本法をも改悪して子どもたちにも愛国心教育が強まるでしょう。どうなりますか。だまって見ているだけか。しっかりして。

カラオケを楽しむ高齢者のみなさん
（老人福祉センター宝生苑）

薪小前道路の改良を 山手幹線供用後に検討

塩貝建夫 議員（共産党）

❶一休ケ丘住宅内の長尾谷大欠線（薪小学校前道路）の道路改良について、市は山手幹線薪工区の供用開始予定の平成20年度以降、交通量の様子を見て歩行者安全確保を図りたいと回答されている。どう対応するのか。

建設部長 市道長尾谷大欠線の交通量は平成16年11月のデータでは、午前7時から午後7時までの12時間に4770台の車両が通過。非常に通行量が多い。今後、どのような安全対策が有効か十分研究していきたい。

❷一休ケ丘から田辺中学へ入学する車いすの生徒に対して、通学路のバリアフリー化が必要である。また、同中学校内のバリアフリー工事の進み具合について問う。

教育部長 来年度入学の生徒の保護者と学校、教育委員会とで協議し、校舎の昇降口、教室等へのスロープの設置、北校舎と中校舎の渡り廊下の段差解消を本年度中に実施する。通学路のバリアフリー化については、改良を必要とする箇所については、現場も見ながら関係課、部と協議して対処したい。

❸一休寺の景観保全について、その後どのような取り組みを進めてきたのか。

建設部長 去る11月28日、一休寺にて土地所有者、開発業者、一休寺住職、市も入った話し合いの場を持った。立場の違いもあったが景観保全の重要さは認識されていた。今後も必要に応じて景観保全の協議、検討を進めたい。

❹市内運行バスの事業者に、低床化をすすめるよう促されたい。

安心まちづくり室長 現在、京阪バスは259台のうち93台が低床化。奈良交通バスは、低床化は未実施。国は平成22年までに乗り合いバス全車両の25%を低床化する目標となっている。今後は新車、買い替え時に低床化すると聞いている。

交通量が多い市道長尾谷大欠線（薪小欠）